

災害に備える

近年多発する台風や集中豪雨は、今までの予想を超える大きさや強さで多くの被害を引き起こしています。

中国地方においては、平成26年8月に広島市で豪雨による土砂災害、平成25年7月に山口県、島根県県境付近で豪雨災害が発生しました。広島市の災害では、死者74名と過去30年で最も人的被害が出た土砂災害となりました。

災害が発生した場合、私たちが経験した災害を大きく上回る可能性は極めて高く、災害・防災への備えを決して軽視できない状況です。災害に対する備えをしておくことが、災害からの被害の軽減につながります。過去の災害経験を踏まえて、個人・地域の防災力を高めておきましょう。

近年における災害の特徴

近年発生している土砂災害の特徴は、局所的で短時間の集中豪雨により土石流や斜面の土砂崩れが発生していることです。雨の降り始めから比較的短時間で災害が発生していることも特徴の一つです。

土砂災害が発生する際には、下表のような前兆現象が現れることがあります。このような前兆現象を発見したら、周囲の人に知らせ、いち早く安全なところに避難することが重要です。

また、災害の発生が夜などで安全な場所に避難することが困難な場合は、自宅の2階に避難するなど、自宅の中でも安全なところに避難することも効果のある避難行動といえます。

土砂災害が発生する際の前兆現象

| がけ崩れの前兆 | 地すべりの前兆 | 土石流の前兆 |
|--|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ●崖からの水が濁る。 ●崖に亀裂が入る。 ●小石が落ちてくる。 ●崖から音がする。 | <ul style="list-style-type: none"> ●地面にひび割れができる。 ●井戸や沢の水が濁る。 ●崖や斜面から水が吹き出す。 ●家やよう壁に亀裂が入る。 | <ul style="list-style-type: none"> ●山鳴りがする。 ●雨が降り続けているのに、川の水位が下がる。 ●川が濁ったり、流木が流れたりする。 ●腐った土の臭いがする。 |

台風・集中豪雨に備えて

台風・集中豪雨は、短時間のうちに局地的に激しい雨が降り、河川の氾濫や土砂崩れなどの被害を引き起こします。

台風や大きな雨雲が近づいてきたら、雨量や周囲の現象に注意し、テレビやラジオ、防災行政無線のサイレンや音声で広報される情報に耳を傾けるようにしましょう。

台風・集中豪雨が発生する恐れがあるときは、気象庁が警報や注意報、気象情報などの防災気象情報を発表します。また、災害が発生する恐れがあるときは、市が避難勧



平成16年8月台風16号による被害（牛窓町地内）

平成16年8月台風16号による被害（邑久町地内）

地震・津波に備えて

南海トラフ巨大地震が発生した場合、本市では、最大震度6弱、津波は地震発生後約2時間後に到達し、津波の高さは最大3m程度になると想定されています。

市では、地震・津波に関する知識や対処方法などの学習面と、南海トラフ巨大地震が発生した際の震度や液状化、津波による浸水範囲とその深さを示した地震・津波ハザードマップを作成し、市民の皆さんに配布するとともに、海



海拔表示標識

抜表示標識を市内500箇所に設置しています。

ハザードマップや海拔表示を活用し、家族、地域（自主防災組織）で家具の固定や耐震化などの地震対策と、迅速、安全に、より高い場所に避難できるよう、津波から身を守る対策をおきましょう。

日頃からの予防対策

市では、洪水・土砂災害ハザードマップ、地震・津波ハザードマップを市ホームページで公開しています。

ハザードマップは、地域に起こり得る災害の被害の程度や避難場所などを示したものです。ハザードマップを活用して次のような予防対策をおきましょう。

【予防対策の例】

- ・避難場所や避難経路の確認（最寄りの避難場所までの時間や避難経路の安全性を確認）
- ・災害時の家族の連絡方法（災害用伝言ダイヤル1717など）
- ・防災用語の理解（気象警報や避難情報など）
- ・防災メールの登録（県防災情報メール、市メールマガジンなど）
- ・一次持出品の準備（避難する際に持ち出す家族3日分の食料、飲料水など）
- ・二次持出品の準備（長期の避難生活に備えた食料や飲料水、生活用品など）
- ・自宅の周りの点検（雨どいや排水管の点検清掃、樹木の手入れなど）
- ・家具の転倒防止（家具や家電をL型金具や突っ張り棒、耐震マットなどで固定）
- ・住宅の耐震対策（日常点検や補修、耐震診断・補強工事）
- ・自主防災組織の活動（地域での予防対策、防災訓練など）

総合防災訓練を実施します



避難訓練の様子

市では、M9.0クラスの南海トラフの南海トラフ巨大地震が発生し、瀬戸内市で震度6弱を観測、液状化、土砂崩れ、家屋の倒壊や建物火災、ライフランの途絶があり、また沿岸部に大津波警報が発表され、3mの津波が襲来するとの想定で「第9回瀬戸内市総合防災訓練」を行います。

この総合防災訓練は、岡山県、関係機関と連携して救助訓練、初期消火訓練、放水訓練などを行います。また煙体験や水消火器体験などの防災コーナーを設置します。皆さん、積極的にご参加ください。

▽日時 8月30日（日）午前9時～▽場所 ゆめトピア長船※小雨決行。気象警報などの状況により、中止する場合は、当日の午前7時ごろに防災行政無線などでお知らせします。

☎0869-22-3904
HP <http://www.city.setouchi.lg.jp/>

河川情報などの映像をライブ配信

市は河川などの水位の状況把握を目的として、以下の4箇所に設置しているライブカメラの映像を配信します。災害時などの情報収集の手段としてご利用ください。

※ライブカメラの映像は、USTREAM（ユーストリーム：動画共有サービス）により配信しています。利用上の注意事項を必ずご確認ください。

■ライブカメラの設置場所

- ・虫明港（邑久町漁協市場東付近）
- ・千田川（国府小学校前福里橋付近）
- ・千田川（福田地域コミュニティセンター桜橋付近）
- ・千町川（瀬戸内市消防本部南側県道付近）

市ホームページにライブカメラ映像へのリンクを貼っています。HP <http://www.city.setouchi.lg.jp/>



瀬戸内市河川等ライブカメラ 携帯電話用QRコード